

夢創造

▶今日で一月も終わります。九年生は《十五の春》を輝かせようと本当によく頑張っています。マスク着用にも体調に気をつけている様子がうかがえます。(写真後列)



平成31年1月31日(木) no.29 文責: 上田

郡市中・北部書写展 入賞紹介

22日(火)に行われた郡市中・北部書写展で、以下の子どもたちが入賞しました。

《特選》	3年	富田	陽菜	
《入選》	2年	井	希羽	・ 大庭竹奏汰
	3年	井	悠翔	
	4年	井	七海	・ 埜口 颯花 ・ 酒井 縁
	5年	塚崎心五郎		・ 酒井 苺夏
	6年	高橋	侑真	



書写(硬筆・毛筆)は国語の中で限られた時間ですが、全学年で指導します。「文字を正しく整えて読みやすく(中学では「速く」を加えて)書くことができるようになる」ことが目標とされており、筆順、筆や鉛筆の持ち方はもちろん、姿勢、筆使い、点画の組み立て、部分の組み立て、文字の中心、外形などについて学習し、正しく整った字形の文字を書く力を身に付けさせることになります。

ところで、私たちの日常には多くの活字があります。パソコンでフォントをみるとびっくりするくらいの書き文字にデザイン処理された字体が表示されます。私が使用している書体は、明朝体・ゴシック体・教科書体・・・せいぜい4つくらいではないかと思います。さて、皆さんは「字体」「字形」「書体」「書風」の違いをご存じでしょうか。明確な定義づけではありませんが、次のようにまとめられます。

字体・・・文字の骨組み、実際には見えない抽象的な概念
字形・・・文字の形、目に見える形に書かれたもの
書体・・・れい書、草書、楷書などの5つの書体、デザインの違いによって明朝体・ゴシック体・教科書体などがある
書風・・・独自の趣などを持っている文字

もっとも、これらの詳細を書写の時間に学習することはほとんどありません。

漢字テストなどでは、長短、方向、つける・離す、はらう・とめる、はねる・とめるなどの許容にもとづき正誤がつけられます。小学生だった私は、間違っている漢字のどこが間違いなのか疑問を持つこともありました。また、担任の先生の黒板の文字がとてもきれいで読みやすかったことと、黒板に書き順を示すかのように腕を伸ばして書かれていたこともよく覚えています。すごいなあとおもわれました。お子さんのノートの文字は読みやすいでしょうか。丁寧に書くことで随分と読みやすくなることだけは確かですね。時には見てみてあげてください。